

## 2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 横浜市立鶴ヶ峯小学校 ] 担当教諭名 [ 白川 絢人 ] ( 6年 95名 )

相手国・地域 [ ジンバブエ ]

海外学校名 [ Helena Primary School ] 担当教諭名 [ Monica Tonodzai / Chenesai Mufori ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界を変えるSDGsへの道	16
	外国語	英語で自己紹介をしよう	2

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	気候変動を解決に向かわせるために私たちにできることから始めよう
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	いま世界で起こっている気候変動の現状を知り、環境問題や食品問題など身近なことから自分たちにできることに取り組み、気候変動を解決できるようにしよう



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
海外の子どもたちと実際につながることで、学習意欲がとてわいてきた。 さらに、世界でも地球について真剣に考えているのだと、当事者意識が芽生えた。	言語が通じないため、交流するだけなら可能であったが、議論したり、考えを深めたりすることが難しかった。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
日本だけの問題ではなく世界を巻き込んで考えていくことが大切だと意識することができた。	海外の人たちとコミュニケーションを取れるようになっていかなければいけないことを実感した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の母国語であいさつ。</li> <li>英語で自己紹介の動画撮影。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手国を知ることで、興味関心が高くなっていた。</li> </ul>	外国語
共有 テーマ学習	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>今、自国または世界で課題だと感じていることの発信。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手国に発信するということを意識していたため、詳しく説得力のある情報や考えをまとめようと意識していた。</li> </ul>	総合
融合 メッセージ作成	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手国の課題を聞き、お互いの課題を尊重したメッセージを作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちだけではなく、相手国の課題も尊重することで世界を視野に考えることができた。</li> </ul>	総合
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>メッセージを表現できるようなデザイン構成をして、壁画制作。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手国との共同作品ができるということにとっても興味を示していた。</li> </ul>	総合
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁画は完成していないが、学習の振り返りを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁画が日本に返ってきていないため実施できていません。</li> </ul>	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	実際に海外の人と直接的な関わりがあるため、子どもたちが相手の国を知ろうする様子を強く感じた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	相手国と一緒に考え発信することで、きちんと自分の考えが相手に伝わるように、思考していた。
主体的に考え行動する力	4	課題を考えたり課題を解決するための取組を自分たちからたくさん情報収集をおこなっていた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	言語が通じないため、リアルタイムでつながっても会話が上手く続かず、対話・協働が難しかった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	壁画という形あるものにすることで子どもたちが、構成をよく考えていた。